

3. 変わり方を調べよう(1) [比例] 単元計画【新しい算数5上 東京書籍】

単元の目標	(1) 一方が2倍、3倍、4倍、...になるとき、他方も2倍、3倍、4倍、...になる二つの数量の関係について知る。 (2) 伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。 (3) 伴って変わる2つの数量の特徴の考察の方法や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 一方が2倍、3倍、4倍、...になるとき、他方も2倍、3倍、4倍、...になる2つの数量の関係について理解している。	① 伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。	① 伴って変わる2つの数量の特徴の考察の方法や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする。
小単元	1	2	3
	比例		まとめ
目標	「比例」の関係について理解し、その関係を使って表にない部分の体積の求め方を考え、説明する。 (教科書P.32~35)	数直線が比例の関係を表していることを理解し、数直線を活用して問題を解決する。比例の関係を表した数直線を用いて、式の立て方や答えの求め方を考え、説明する。 (教科書P.36~37)	学習内容の定着を確認するとともに、単元の学習を振り返り価値付ける。

毎時の評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①は単元の評価規準を参照)

知識・技能【知】	① ●表を用いて比例の関係を見いだすことができる。	① ○既習の掛け算の場面について比例の関係であることを理解し、数直線を使って問題を解決することができる。		① ●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。
思考・判断・表現【思】	① ○比例の関係を使った体積の求め方を考え、説明することができる。	① ●比例の関係に着目して、数直線を使った式の立て方や答えの求め方を考え、説明することができる。	① ●数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。	
主体的に学習に取り組む態度【主】			① ●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。	

学習の流れ(目安:分)と学習形態(★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリルの活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※A1ドリル(4年12-1)	※A1ドリル(5年3-1)	※共通ドリル(5年3-2)	※A1ドリル(3-まとめ)	
0	①<既習内容の確認> 面積を求める公式を確認する。	①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①《パフォーマンス課題》 第1時で提示された課題を再度把握する。	①CBT単元テスト【知】 (比例)	
5	②《パフォーマンス課題》 提示された課題を把握する。	②表から2つの数量関係の関係を見だし、比例の関係であることを確かめる。	②《パフォーマンス課題》 折り紙の枚数を基に、条件に適した作れる輪っかの数や輪飾りの長さを判断する。【思・ループリック評価】		
10	③底面を固定して、直方体の高さを2倍、3倍、...にすると、体積はどのように変化するか調べる。【知】	③巻末(教科書P.140~141)の「数直線の図のかき方」を参照しながら、比例の関係は数直線で表せることを確認する。			個別・協働
15	④「比例」の意味を知る。	④数直線に表した比例の関係を使って、問題を解決する。【知】【思】			
20					
25	⑤高さが30cmのときの直方体の体積について、比例の関係を使った求め方を考え、説明する。【思】	⑤数直線を活用して問題解決できたことをまとめる。			
30		⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1		②即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所の解き直しを行う。 ※A1ドリル(おすすめ問題)を家庭学習とする。	
35	⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1	※共通ドリル(5年3-2) ・ステップ2 ・ステップ3<意味付け><概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動>から適切なものを設定する。			
40	※共通ドリル(5年3-1) ・ステップ2		③<単元の振り返り>【主】	③<振り返り>	
45					